

ISO 17100 認証返上について

2016年 - 2026年：品質への取り組みと10年間の歩み

2016年 7月

認証取得

翻訳に関する国際規格ISO17100の認証を取得。品質管理フローの体系化を開始。



10年間の継続

運用と改善

社内ドキュメントシステムの整備。
審査員との対話を通じたフローの継続的な改善と定着。

2026年 2月

発展的返上

業界の変化ならびに社内スタッフへの浸透を確信し、認証返上を決定。
確立したフローは維持し、柔軟な体制へ移行。



i 社内フローは、認証返上後も維持されます

認証返上の主な理由

データに基づく経営判断



業界環境の変化

ISO 17100 対象プロジェクトの割合

約 **1/3** に減少



- 顧客品質ニーズの多様化
- MTPEやAI翻訳レビュー案件の急増
- ISO要件を必須とする案件の縮小



認証の必要性の低下

10年間で認証が必須条件だった案件

0 件

❗ 実質的な受注要件とならず

- ✓ 入札時の「認証済み」表記は加点要素のみ
- ✓ ベンダー選定の決定的な基準にはならず
- ✓ 既存クライアントにとってもMustではない

今後の方針

品質維持と柔軟性の両立を目指して



品質管理フローの継続運用

認証返上後も、対象プロジェクトにおいては既存の厳格な品質管理フロー（翻訳+校正）を確実に踏襲します。これまで培った品質基準を維持し、安定した成果物を提供します。



ドキュメントシステムの更新

10年間で整備された社内ドキュメントシステムは、今後も維持・活用します。フローの変更や改善が必要な場合は、適宜システムを更新し、組織全体への浸透を図ります。



要件に応じた柔軟な対応

MT（機械翻訳）、MTPE（ポストエディット）、AI翻訳レビューなど、多様化するクライアントニーズに合わせて、最適なプロセスと価格設定を柔軟に提案します。



再認証可能な体制の維持

現在は認証を返上しますが、社内の品質管理体制が後退したわけではありません。将来的にビジネス要件として必要が生じた場合、いつでも再認証を申請できる準備状態を維持します。